



担当教員 teacher in charge



野原 香織

帯広畜産大学
人間科学研究部門 講師

帯広畜産大学 前期提供科目

農畜産関係法

(日本の農業・畜産をめぐると法律問題)

農産物の生産で最も重要なことは、食品としての安全性を確保することである。そのためには生産者倫理や消費者意識といった個人の努力だけでなく、生産から消費にいたるまでの明確なルールづくりが不可欠となる。農畜産業に関する種々の法律は、国家による強制力をもつルールとして「食の安心・安全」を支えている。近年、「食」をめぐる国際情勢の変化や科学技術の進歩、そして社会問題となった「食品スキャンダル」などの重大事件をうけて、農畜産業および食品安全に関する法制度は転換点を迎つつある。この授業では、わが国の農畜産業の現状と課題をふまえたうえで、関連する法制度を具体的な事例を交えて習得し、さらに現在の法制度が抱える問題点の解決策を考えるために必要な法的思考力を養う。

成績評価

リアクションペーパーおよび授業参加度（20%）、授業内でおこなう小テスト（30%）、期末レポート（50%）によって評価する。リアクションペーパーと授業参加度は、講義内容への興味関心や積極的参加の度合いをみる。また、小テストによって知識の定着度をはかり、期末レポートでは授業でとりあげた法制度への理解の深まりと各自の考察を評価する。

到達目標

- ①農畜産業および食品安全に関する法制度の概要を説明することができる。
- ②現在の法制度の問題点や将来的課題を見出すことができる。
- ③各法制度の背景・意義・概要・問題点を文献等から調査し、自らの考えを法的観点から展開することができる。

授業計画

1. ガイダンス
2. 法学の基礎知識
3. 食中毒事件
4. 産地偽装事件
5. 遺伝子組換え作物・食品の安全性
6. 農業知的財産（1）—品種登録と育成者権
7. 農業知的財産（2）—地理的表示（GI）・地域団体商標
8. 風評被害
9. 財産としての家畜—家畜取引
10. 家畜伝染病予防
11. 家畜の“福祉”
12. 農業従事者の労働法
13. 外国人労働者の受け入れ
14. 環境保全型農業
15. 「農業競争力強化」政策